

H23 年度 S&L 支援事業シンポ 主要国における省エネ基準・ラベリング政策の現状と国際的支援の動向

主催：経済産業省資源エネルギー庁、(財)日本エネルギー経済研究所

開催時期：2012年2月10日(金)午後1時～5時30分

開催場所：品川プリンスホテル(講演会)メインタワー34F「ルビー34」

(レセプション)メインタワー3F「もみじ・すみれ・しょうぶ」

参加費：無料

定員：100名(予定)

使用言語：日本語・英語・中国語(同時通訳付)

○ シンポジウムの目的

2006年以降、経済産業省の委託事業として(財)日本エネルギー経済研究所は、中国、ベトナム、インド、タイなど主にアジア諸国における家電製品のエネルギー効率基準及びラベリング(省エネS&L)制度の構築を支援してきた。近年、国際的な省エネ意識の高まりと共に、省エネS&L制度の重要性が認識され、多国間の枠組下での支援活動が活発化している。本シンポジウムでは、そのような多国間の省エネS&L制度構築支援の最新動向を理解すると同時に、経済成長に伴い電力消費の増加が著しいアジア途上国における省エネS&L政策の現状と課題を抽出することを目的とする。

具体的には、超高効率機器および電化製品の導入(SEAD: Super-efficient Equipment and Appliance Deployment)イニシアチブ、及び、国際エネルギー機関・家電実施協定(IEA4E)の最新動向と、S&L分野での日本の支援についての報告を行う。次に、中国、ベトナム、タイ、インドネシア及びインドの5カ国から、本事業のカウンターパート、もしくは実務担当者を招聘し、各国におけるS&L政策の現状と課題につき報告してもらう。最後のQ&Aセッションでは、参加者から直接パネリストに質問する機会を設ける。

また、シンポジウム終了後には、発表者と来場者の交流会も併せて開催する。